

巻機山山行報告



【山行日】2019年 7月 15(日) 曇り時々雨

【集合】岩舟支所P AM 4:00

【費用】マイカー2台 : 3,700円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL大西、安西、石川、
岩淵、梶内、菊池、清水、鶴見、福島、藤原

【コースタイム】岩舟支所 P4:00 = 桜坂
P6:05/6:25～焼松 7:50/8:00～七合目 9:30/9:40
～前巻機 10:40～避難小屋 11:00/11:10～御機屋
11:20～1967mP 11:30～御機屋 11:40～避難小屋
12:05/12:40～前巻機 13:00～焼松 14:50/15:00＝

桜坂 P16:05/16:20＝岩舟支所 P18:40

夏山トレーニング山行が雨で中止が続き、今回もあまり良い天気予報ではないが雨を覚悟で決行した。北関東道から関越道を進み群馬県側は晴れ間が見られたが、関越トンネルを出ると曇っていた。塩沢石打ICで降り県道28号線から国道291号線を通り、清水集落から左に山道を進むと桜坂駐車場に着く。空は明るく雨は降っていないが天気予報が良くないので、広い駐車場に車は数台しか止まって無かった。準備を整えトイレを済ませたらストレッチを行い、登山届をポストに入れてから出発する。米子沢の橋を渡り奥の駐車場を抜けるとすぐに沢コースとの分岐になり、右の林道沿いに進むとほどなく井戸尾根登山口に着く。しばらくは石のゴロゴロした登山道を登り、3合目から樹林の中の尾根上の道を歩くようになる。徐々に傾斜が増してきて、4合目から5合目は「井戸の壁」と呼ばれる急登が続く。5合目の焼松は米子沢の展望が良く休憩に良い場所で、小休止しトマトを食べ水分を補給する。焼松からはブナ林の尾根道が続き、ブナの純林の中を歩くのは楽しく心地よい。



6合目は展望台で割引岳や天狗岩が迎えてくれるが、今日はガスが掛かり何も見ることが出来ない。ここからも急な尾根道をグングン登って行き、ブナ林から灌木帯になると傾斜も緩み7合目に着く。明るく開けた場所で、目の前に大きく立ちはだかるのは前巻機山である。小休止しキーウイや菓子を食べてエネルギーを補給する。7合目から前巻機山への道はチシマザサの急登で、登山道が泥濘とても歩きにくい。それでも展望が開け近くの山並みが見渡せ、

「ウワ～綺麗」と歓声が上がる。

急坂を九十九折れに登り、8合目からは傾斜もゆるくなって木道が整備され歩き易くなる。ニッコウキスゲ等が咲く平坦な道を進むと、ほどなく前巻機山山頂に着く。ここからは巻機山の雄大な山容



が望めるが、あいにく巻機山はガスの中で見えなかった。山頂標識の前で記念写真を撮ったら木道を下り、ほどなく避難小屋に着く。女性の皆さんはトイレに寄りたいようで、大休止してトイレタイムをとる。避難小屋から木道を歩き、「織姫ノ池」と呼ばれる池塘の間を抜けると巻機山への最後の急登が始まる。ササの急登を30分頑張ると、巻機山の稜線に出る。ここは御機屋と呼ばれる場所で、「巻機山山頂」の大きな標識が立ち現在はここを山頂としている。霧雨が強くなり、レインウエアーの上

衣を着て、ザックにカバーを付けデポして1967mの最高点に向かう。御機屋から最高点までは最も巻機山らしい稜線で、たおやかな高層湿原の尾根はまさに雲上の楽園と言える。あいにくの霧雨で展望は得られないが、皆さん「ここまで来られて良かった」と満足そうに微笑んでいた。

最高点には標識も無く(以前は巻機山の標識があった)石を積んだケルンが置かれているだけである。ケルンの前で記念写真を撮り、御機屋まで戻るが霧雨が止まないの避難小屋に戻り昼食にする。避難小屋まで戻ると雨は止み、小屋の前のベンチで豚汁を作りおにぎりとお汁巻き卵等いただく。途中で出せなかったおやつが沢山出て来て食べ切れないので、いただいて持ち帰ることにする。お腹がいっぱいになったら後



片付けし、女性達はトイレを済ませて下山する。下山は往路を戻るが、前巻機山まで来ると空が明るくなり山頂は見えなかったが米子沢源頭の斜面は良く見え、チシマザサとオオシラビソの樹林のコントラストが美しい。ところが皆さんここからの下りに難儀し、結構時間が掛かってしまう。怪我の無いように慎重に下り、時間は掛かったが無事に登山口に着いた。ドロドロの登山靴をトイレ脇の水場で洗い、駐車料金を支払ったら帰路につく。途中、塩沢石打 SA に寄り、ソフトク

ームや飲み物を買って乾いたのどを潤す。関越道と北関東道は順調に走り、予定より少し遅れて岩舟支所に帰着した。